

公開実用 昭和 58— 191741

④ 日本国特許庁 (JP)

① 実用新案出願公開

② 公開実用新案公報 (U)

昭58—191741

⑥ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

③ 公開 昭和58年(1983)12月20日

H 04 B 1/08

7335—5K

H 01 Q 1/46

7402—5J

H 04 N 5/44

7436—5C

審査請求 未請求

5/64

7013—5C

(全 頁)

⑤ ポケットブル・ラジオ・テレビ受信機

会社諏訪精工舎内

出 願 人

株式会社諏訪精工舎

⑦ 夫 願 昭57-- 88853

東京都中央区銀座4丁目3番4号

⑧ 出 願 昭57(1982)6月15日

⑨ 考 案 者 茂木裕之

⑩ 代 理 人

弁理士 最上務

諏訪市大和3丁目3番5号株式

明 細 書

1. 考案の名称 ポケットابل・ラジオ・テレビ 受信機

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 映像信号及び音声信号を出力するテレビ放送信号処理部とステレオ・モノラルラジオ音声信号を出力するFM放送信号処理部及び電源部を備えた受信機本体と、手首に装着可能で上記受信機本体からケーブルを介して供給される映像信号と駆動電圧で作動する表示装置を有した腕表示器とからなるポケットابل・ラジオ・テレビ受信機において、映像表示時に上記受信機本体・腕表示器間を接続するケーブル（以後リストケーブルと称する）と、音声聴取時に受信機本体へ装着するヘッドホンケーブルとを放送電波受信用アンテナとして備えたことを特徴とするポケットابل・ラジオ・テレビ受信機。

(2) ヘッドホン装着時には、特別に切換スイッ



チを設けることなくヘッドホンジャックに切換スイッチ機構を持たせることにより、リストケーブルはアンテナ回路から切り離されヘッドホンケーブルのみ放送電波受信用アンテナとなり、ヘッドホン未装置時には、上記ヘッドホンジャックスイッチ機構により、リストケーブルがアンテナ回路に接続されて放送電波受信用アンテナとなる実用新案登録請求の範囲第 1 項記載のポケットブル・ラジオ・テレビ受信機。

(3) 放送電波受信用アンテナとして専用のラインを設けることなく、ヘッドホン装着時には、ヘッドホンケーブル内のグラウンドライン又は信号ラインを放送電波受信用アンテナとして兼用しヘッドホン未装着時には、リストケーブル内のグラウンドライン又は信号ラインを放送電波受信用アンテナとして兼用する実用新案登録請求の範囲第 1 項又は第 2 項記載のポケットブル・ラジオ・テレビ受像機。

3 考案の詳細な説明

本考案はポケットابل・ラジオ・テレビ受信機の使用形態の自由度を向上させたアンテナ構成に関する。

最近、ポケットابل・ラジオ・テレビ受信機が各種提供されているが、これらは、いずれも放送信号処理部、電源部、表示部とが一体的に組込まれたものであり、携帯時は、その都度、手で持ちロッドアンテナ等を用いた状態で視聴せねばならず、ポケットに入れたまま、あるいは腰につけたまま、ロッドアンテナを伸ばして視聴するということは、アンテナの煩雑性、画面の方向に自由度がない等の理由によつて不可能又は非常な不便さを有していた。

本考案は、かかる欠点を除去したもので、その目的は、映像表示部を受信機本体とケーブルで接続して腕に取付け可能として腕時計を見るのと同様の気軽さでテレビ画像を見ることがのできるポケットابل・ラジオ・テレビ受信機において、アンテナ操作の煩雑性を除去し使用形態の自由度を大

幅に向上させることにある。

以下、実施例に基づいて本考案を詳しく説明する。第 1 図は本考案の一実施例を示す装着の外観図であつて、ラジオ・テレビ・受信機 A とテレビ画像表示用の腕表示用の腕表示器 B とヘッドホン C の 3 体に分割構成されており、リストケーブル a とヘッドホンケーブル b が使用状態に応じて、それぞれ放送電波受信用アンテナとなる。すなわち第 1 に、テレビ放送の映像・音声を視聴する場合、腕表示器 B とヘッドホン C をそれぞれ手首及び頭部に装着し、ケーブル a, b で受信機 A に接続することによりヘッドホンジャック F 内の弾性バネ構成スイッチ機構によりヘッドホンケーブル b のみがアンテナ回路に接続された状態となり、放送電波受信用アンテナとなる。

第 2 に、テレビ放送の映像だけ見る場合にはヘッドホン C を接続しなくとも、上記ヘッドホンジャックスイッチ機構により、リストケーブル a がアンテナ回路に接続されて放送電波受信用アンテナとなる。第 3 に、テレビ放送の音声のみまたは

F M 放送を聴取する場合には、第 1 の場合と同様に腕表示器 B の接続有無にかかわらずヘッドホンが放送電波受信用アンテナとなる。

なお第 1 図中、1 はポケットあるいはベルト等の着衣に取付けて持運び可能にするためのクリップ、2 はチャンネルつまみ、3 は電源スイッチ兼音量調節つまみ、4 はテレビ放送—ラジオ放送選択スイッチ、5 はテレビ画像 ON—OFF ステレオ—モノラル選択スイッチ、6 はリストケーブルジャック、8 は腕表示器を手首に取付け可能とするためのベルト、9 は画像表示装置用パネル、10 はリストケーブルと腕表示器接続コネクタである。

第 2 図は前記アンテナ構成に関する一実施例を示す回路ブロック図であつて、ヘッドホンジャック 7 は弾性バネ構成のスイッチ接点 17, 18, 19 を有しており、本実施例では、スイッチ接点 17 により使用状態に応じて放送電波受信用アンテナとして、ヘッドホンケーブルを用いるか、リストケーブルを用いるかの選択を行なう。

すなわちヘッドホン接続時はスイッチ接点 17 が OFF の状態となる機構にしてあるので、チューナ回路 1 のアンテナ端子に高周波的に接続されて放送電波受信用アンテナの役目を兼ねるのは、ヘッドホンケーブル内の音声信号ライン BR のみで、リストケーブル内のグラウンドライン G は自動的にアンテナ回路より切り離された状態となる。

一方、ヘッドホンをはずした場合、スイッチ接点 17 は ON 状態となるのでリストケーブル内のグラウンドラインがチューナ回路 11 のアンテナ端子へ接続された状態となり、アンテナの役目を兼ねることになる。本実施例では、ヘッドホンケーブル内の音声信号ライン SR 及びリストケーブル内のグラウンドラインをアンテナとして用いる構成をとっているが、ヘッドホンケーブル内の音声信号ライン BL、グラウンドライン及びリストケーブル内の電源ライン B₁、B₂、B₄についても簡単な回路接続変更により、同様のアンテナ機構を兼ねさせることができるのは言うまでもない。但し、ヘッドホンケーブル内の音声信号ライン SL を用

いた場合はスイッチ接点 18 を、グラウンドラインを用いた場合はスイッチ接点 19 を使用することになる。なお、第 2 図中、12 は中間周波増幅検波回路、13 は音声中間周波増幅検波回路、14 はオーディオ回路、15 は電源回路、 $L_1 \sim L_6$ は高周波デカプリング用チョークコイルである。

以上説明したように、本考案は放送電波受信用アンテナとして専用のものを設けることなく、又、使用状態に応じたアンテナの切換も特別なスイッチを必要とせず、ヘッドホンの脱着のみで、できる構成としちので、アンテナにかかわる煩雑性を除去し、腕時計を見るのと同様の気軽さでテレビ画像を見ることができるといふパーソナル情報機器としての使用形態の自由度を確実なものとするなどすぐれた効果を有するものである。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は、本考案のポケットابل・ラジオ・テレビ受信機の一実施例を示す装置の外観図、

第 2 図は、本考案の一実施例を示す回路ブロッ

公開実用 昭和 58— 191741

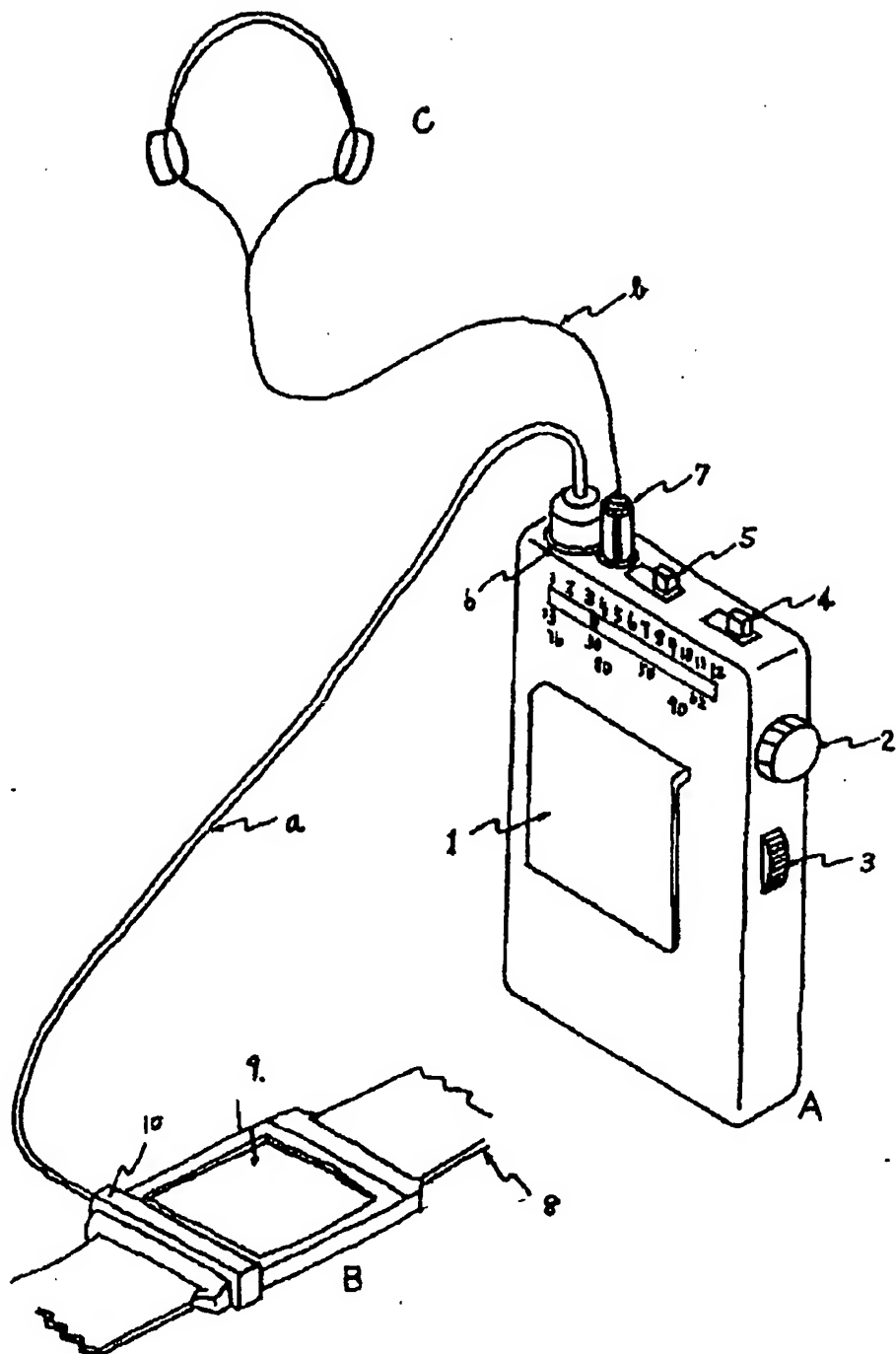
夕 函。

以 上

出願人 株式会社 諒 訪 精 工 舎

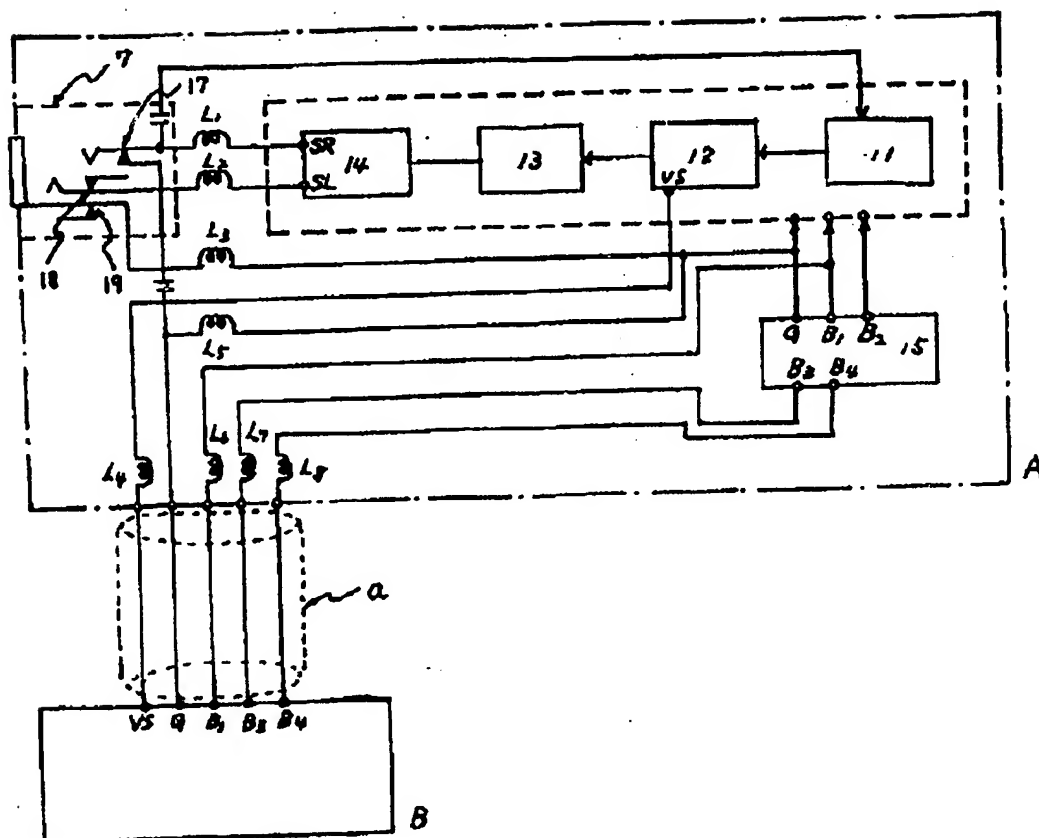
代理人 弁理士 最 上





第 1 圖

370
実開58-191741



第 2 図

371

実開58 - 191741

出願人 株式会社日立製作所
代理人 丸井 隆 最上 邦

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.